

当麻町立当麻小学校

- ・ 体力向上プラン
- ・ 実践概要

令和4年度 当麻町立当麻小学校 体力向上プラン

1 自校の児童の体力・運動能力等に関わる現状

○ **体力・運動能力や運動に関する意識(内面)、生活習慣、運動習慣等に関わる現状**

【当麻町立当麻小学校】	男子										女子									
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
	kg	回	cm	点	回	秒	秒	cm	m	点	kg	回	cm	点	回	秒	秒	cm	m	点
第1学年	11.00	14.00	23.72	32.61	26.72		11.44	121.39	11.44	35.33	10.81	13.19	27.24	31.52	22.10		11.71	109.52	8.48	36.33
男との比較	68.62	54.42	45.86	60.66	58.34		50.12	59.82	60.01	67.55	61.20	53.82	47.66	60.83	59.25		51.06	51.60	65.03	59.84
女との比較	68.26	53.84	45.88	58.50	58.38		48.90	52.38	58.28	66.82	60.50	53.28	47.66	58.28	60.10		50.56	50.45	64.54	58.13
第2学年	12.91	14.32	25.55	36.59	28.00		10.56	121.14	12.58	39.76	12.37	15.53	28.25	36.79	24.10		10.91	123.47	9.79	43.11
男との比較	68.02	49.58	46.82	58.48	49.24		50.37	47.46	52.34	62.47	59.55	52.83	46.99	61.29	51.97		50.30	53.50	69.92	57.22
女との比較	68.88	50.82	45.51	57.50	49.71		49.90	46.55	53.53	62.60	59.31	53.94	45.67	60.38	50.97		49.82	52.41	60.38	58.85
第3学年	14.80	19.20	31.00	40.53	42.07		10.09	135.40	19.13	48.27	14.82	17.11	33.54	39.93	38.71		10.32	134.04	12.75	50.93
男との比較	67.64	54.30	51.83	57.20	52.12		49.17	49.24	56.68	64.89	62.02	52.43	52.11	59.77	57.61		51.05	63.42	60.87	58.89
女との比較	67.39	56.16	50.94	57.51	53.33		49.80	49.28	57.59	65.84	60.76	52.60	49.50	58.85	57.32		50.02	51.95	60.82	57.51
第4学年	17.17	21.17	38.00	41.72	44.24		9.82	145.17	21.28	53.11	18.00	22.00	40.53	44.00	35.89		9.62	138.26	17.26	58.95
男との比較	69.27	54.83	58.47	53.42	49.28		47.35	50.34	53.38	64.14	68.68	58.55	57.82	58.43	49.21		53.85	50.21	65.48	59.83
女との比較	68.87	55.79	58.15	53.04	49.98		47.06	48.68	54.20	64.10	63.07	58.74	56.57	58.90	50.18		53.75	48.51	65.32	59.87
第5学年	19.73	21.18	38.18	44.32	49.82		9.55	158.77	24.68	58.23	18.63	20.33	37.27	43.07	47.20		9.43	145.17	16.00	58.77
男との比較	69.25	50.71	58.02	51.05	47.64		45.54	61.77	52.17	62.87	67.65	62.29	49.84	62.83	61.79		51.25	48.93	65.66	62.61
女との比較	69.02	53.83	55.39	54.74	51.42		49.07	53.18	55.03	66.01	56.57	54.28	49.29	58.78	55.80		52.39	49.99	65.73	64.65
第6学年	22.64	23.57	36.36	47.55	58.04		9.00	157.17	25.79	61.00	20.70	23.59	41.26	48.14	46.45		9.09	155.71	19.00	63.16
R1T得点	67.57	51.85	50.78	51.95	47.60		48.21	46.61	49.08	49.65	53.58	55.84	50.29	58.97	47.15		50.87	49.85	64.87	50.58
R3T得点	68.31	53.61	60.70	52.50	48.84		47.87	45.97	50.39	60.26	58.21	50.83	57.53	49.41			50.98	49.98	65.65	51.01

○全体的に、どの項目も全国平均と同等もしくはそれ以上であった。
○児童アンケートで体育が好きと回答した児童は97%、進んで運動していると回答した児童は90%であった。

2 自校の児童の体力・運動能力等の現状から分析した課題

○ 体力・運動能力等に関わる課題 ・走力(50m走、20mシャトルラン)や立ち幅跳びに課題が見られる。	○ 生活習慣、運動習慣に関わる課題 ・運動習慣については二極化が大きくなっている。 ・特に運動不足の児童のスクリーンタイムが長い。
---	--

3 自校の児童の体力・運動能力等に係る目標

○ 体力・運動能力等に関わる目標 ・様々な運動の機会(特に走力につながる内容)を設定し、楽しみながらバランスよく育てていく。 ・課題解決型授業により、学ぶ楽しさから運動への意欲をもたせる。	○ 生活習慣、運動習慣に関わる目標 ・学校外でも運動に親しむ児童を育成する。 ・自らの健康保持増進を意識できる児童を育成する。
---	--

4 自校の児童の体力・運動能力等に関わる目標達成状況

○ 体力・運動能力等に関わる目標の達成状況に対する評価指標 【評価方法】 ・複数回の新体力テスト ・学年末の児童に対するアンケート 【成果指標】 ・自分の体力・運動能力の向上を実感している児童の割合80%以上 ・20mシャトルランで自己記録が向上した児童の割合80%以上 【評価結果】 ・中間評価(11月) ・最終評価(2月) ・体力・運動能力の向上を実感していると回答した児童の割合100%。 ・シャトルラン記録向上の児童の割合93%	○ 生活習慣、運動習慣に関わる目標の達成状況に対する評価指標 【評価方法】 ・学年末の児童に対するアンケート ・学校評価 【成果指標】 ・運動時間60分以上、平日のスクリーンタイム1時間未満と回答した児童の割合80%以上 【評価結果】 ・中間評価(11月) ・最終評価(2月) ・運動時間は概ね達成したが、平日のスクリーンタイムが長い傾向が見られ、休日は更なる傾向が分かった。
---	---

5 自校の児童の体力・運動能力等に応じた具体的な取組【1校1実践】

1 30秒かけあし跳び(どさんこ元気アップチャレンジへの参加) ・走力・脚力の向上を目指して継続的に行う。 ・授業の導入に位置付ける。	【取組指標】 1 全学年で継続的に実施し、適宜振り返りを行う。 2 「体育コーナー」の利用を促したり、内容を追加修正したりする。 3 月2~3回発行する。
2 多様な運動に親しむことができる「体育コーナー」の設置 ・校内やグラウンド等に、体力・運動能力を高める体育コーナーを常設する。	
3 定期的な体育通信の発行 ・各学年で学習している体育の様子を紹介する。 ・体力・運動能力または健康に関する情報、家庭でも取り組める軽運動を紹介する。	

6 次年度に向けた具体的な取組の改善・充実

・バランスのよい体力向上のため、授業導入時の活動の工夫を行う。 ・児童が自然と体を動かしたくなるような場の設定や用具の工夫を充実させる。 ・スクリーンタイムの減少を児童・保護者に呼び掛ける。

目指す子どもの姿

- ・健康を保持増進し、よりよい自分を目指して自ら課題を見付け前向きに取り組む子
- ・人と交流し、思いを共有する子
- ・自分の考えを語り、行動を起こす子

自己肯定感や主体的に運動に取り組む意欲を高める授業づくり

体育専科教員等の視点による
授業づくりのポイント

単元や内容のまとめりを見通した授業実践のポイント



- ・運動の機能的特性（何が面白い運動なのか）や、単元の指導事項を踏まえ、児童の実態に合わせて運動を教材化する。
- ・単元や内容のまとめりのゴールイメージを明確にし、そこに至る学習過程を子どもと共有する。
- ・児童が「これならできる！（できそう！）」「こわくない！」と思えるように、自分の課題に合わせた活動を選択できるようにする。

「導入」場面における指導の手立てのポイント



活用
テキスト
マイニングの

シュートに課題意識を持つ子が多い

- ・児童の振り返りから課題を見いだす。
- ・児童自身の「やりたい！」「学びたい！（どうやったらもっと楽しくなる？）」という思いを大切にす。

「展開」場面における指導の手立てのポイント



主運動 シュートのコツは・・・

- ・協働的に学ぶ場面を設定する。
- ・自己の課題に応じた活動を選択できる場の設定を工夫する。
- ・運動量を十分に確保する。

「まとめ」場面における指導の手立てのポイント

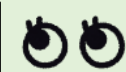


全体共有

- ・本時の学びを振り返り言語化する。
- ・自身の課題の達成状況（変容）や新たな課題を確認する。
- ・次時へのつながりをもつ。



体力向上に向けた授業以外の組織的な取組



体育専科教員等の視点による授業以外の取組のポイント

運動の日常化につながる校内環境整備



校内体育コーナー

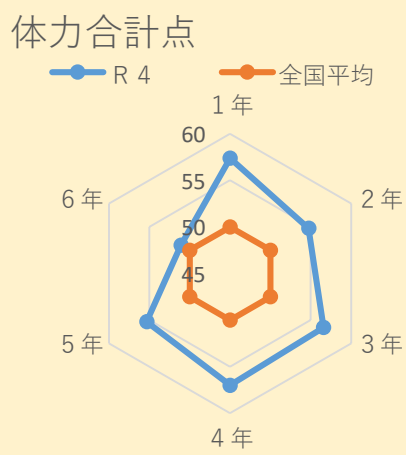
- ・ 休み時間等を活用し、日頃から運動に親しめるような「校内体育コーナー」を設置した。
- ・ 教師も児童もどこに何があるのかが分かり、準備や片付けを効率よく行えるよう、用具を整理した。

学校間や、家庭との連携



- ・ 町教育研究会と連携し、町内の幼小中の幼児児童生徒の実態や課題について交流し、資料を全体に周知するとともに、町内の小中で統一の取組として、「どさん子元気アップチャレンジ」への参加を促した。
- ・ 体育の授業の様子や健康に関する情報などを体育通信で発信した。

これまでの授業改善及び組織的な取組の成果



- ・ 全学年を対象に行った新体力テストの今年度の結果は、体力合計点において全ての学年が全国平均を上回るとともに、前年度の記録を上回った。
- ・ 児童アンケートにおいて、「体育が楽しい」と肯定的な回答が97%であった。
- ・ 保護者アンケートにおいて、体力向上の取組について肯定的な回答が100%であった。

体力向上に向けた今後の具体的な取組

- ・ 新体力テストの結果から、どの学年も体力合計点で全国平均を上回っていたが、「50m走」や「20mシャトルラン」など走力にやや課題が見られたため、休み時間や体育の導入の時間を活用して、楽しみながら「走る」機会を増やす。
- ・ 朝の時間や隙間の時間を利用して、コーディネーション運動や簡単な体操など、少しでも体を動かすことができる機会を設ける。
- ・ 体育の授業において、児童が自然に体を動かしたくなるような場の工夫や、用具の充実を図る。